



# 2019年度シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	猫の行動学 (Cat Behavioral Science)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	石本 美樹
	専攻名	キャットプロフェッショナル専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限
【授業の学習内容】 この科目では猫の品種特性や年齢を理解したうえでの取り扱いができるよう、扱う上での注意点を学んでいく。							
※実務経験者 サンフラワーキャットクラブ理事 アビシニアン、ペルシャのブリーダーを経てペットシッターやキャットトレーナーなど猫と人の豊かな生活を支援する活動をおこなう							
【到達目標】 各品種によつての性質や特徴を説明できる 年齢を考慮した管理を提案できる							

授業計画・内容	
1回目	講義の進め方 品種の定義 用語
2回目	用語 発生 体の部位 体格 名称 目型 目色
3回目	用語 目型 目色 毛質 毛の長さ
4回目	用語 コート カラー クラスについて
5回目	登録証・血統書の見方
6回目	各品種の原産 ・性質 公認種 未公認種 歴史と特徴
7回目	各品種の原産 ・性質 公認種 未公認種 歴史と特徴
8回目	各品種の原産 ・性質 公認種 未公認種 歴史と特徴
9回目	各品種の原産 ・性質 公認種 未公認種 歴史と特徴
10回目	各品種の原産 ・性質 公認種 未公認種 歴史と特徴
11回目	各品種の原産 ・性質 公認種 未公認種 歴史と特徴
12回目	各品種の原産 ・性質 公認種 未公認種 歴史と特徴
13回目	各品種の原産 ・性質 公認種 未公認種 歴史と特徴
14回目	前期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業態度10% 筆記試験90%
【使用教科書・教材・参考書】 □	
猫の教科書(緑書房)	

# 2019年度シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	猫の行動学 (Cat Behavioral Science)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	石本 美樹
専攻名	キャットプロフェッショナル専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日5時限
【授業の学習内容】 この科目では猫の品種特性や年齢を理解したうえでの取り扱いができるよう、扱う上での注意点を学んでいく。							
※実務経験者 サンフラワーキャットクラブ理事 アビシニアン、ペルシャのブリーダーを経てペットシッターやキャットトレーナーなど猫と人の豊かな生活を支援する活動をおこなう							
【到達目標】 各品種によつての性質や特徴を説明できる 年齢を考慮した管理を提案できる							

授業計画・内容	
1回目	飼育管理コンパニオンアニマルとは なぜ動物を飼うのか？
2回目	猫を飼う心構え 猫の入手先、選び方 (仔猫と成猫、雄or雌、長毛種or短毛種、品種or雑種)、目的(繁殖、ペット、ショー など)
3回目	健康な猫とは 健康チェック (目、耳、皮膚、鼻、汚れ)etc
4回目	猫を迎える準備、慣れるまで管理
5回目	健康管理 ・仔猫(2か月～8か月まで) ・成猫(8か月以降) ワクチン、環境について
6回目	健康管理 ・仔猫(2か月～8か月まで) ・成猫(8か月以降) フードについて
7回目	健康管理 ・仔猫(2か月～8か月まで) ・成猫(8か月以降) 避妊、去勢について
8回目	健康管理 ・仔猫(2か月～8か月まで) ・成猫(8か月以降) 排泄について
9回目	老年期の管理について
10回目	四季に応じた管理
11回目	シッターの管理
12回目	病院、ペットショップでの管理
13回目	多頭飼育の管理 (ブリーダー、保護活動)
14回目	後期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り② キャットトレーニング ・アジリティ、トイレトレーニング(人のトイレでの)etc
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業態度10% 筆記試験90%
【使用教科書・教材・参考書】 □	
猫の教科書(緑書房)	

# 2019年度シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	猫グルーミング演習Ⅱ ( Practical Cat Grooming Ⅱ )	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	石本 美樹
専攻名	キャットプロフェッショナル専攻	授 業 形 態	演 習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日3・4時限

### 【授業の学習内容】

ペット美容においては犬のみでなく猫の美容も一定の需要がある。しかし、猫は犬と同様の扱いでグルーミングを実施することはできず、猫ならではの扱いを身に付ける必要がある。この科目では猫の扱い・美容手技を習得することを目的とする。

### ※実務経験者

サンフラワーキャットクラブ理事

アビシニアン、ペルシャのブリーダーを経てペットシッターやキャットトレーナーなど猫と人の豊かな生活を支援する活動をおこなう

### 【到達目標】

猫の特性を理解し、適切に扱うことができる

基本的な作業ができる

個々に合わせた扱いができる

### 授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業オリエンテーション デモンストレーション
2回目	グルーミング実習
3回目	グルーミング実習
4回目	グルーミング実習
5回目	グルーミング実習
6回目	グルーミング実習
7回目	グルーミング実習
8回目	グルーミング実習
9回目	グルーミング実習
10回目	グルーミング実習
11回目	グルーミング実習
12回目	グルーミング実習
13回目	グルーミング実習
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	グルーミング実習

準備学習  
時間外学  
習

評価方法

グルーミング実技 80%  
※指定した時間内にスムーズに作業を進め、現場での実践に近い状態で評価

準備・後片付け 20%  
※少人数でいかにチームワークがとれるかで評価

【使用教科書・教材・参考書】 □

# 2019年度シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	猫グルーミング演習Ⅱ ( Practical Cat Grooming Ⅱ )	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	石本 美樹
専攻名	キャットプロフェッショナル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日3・4時限

### 【授業の学習内容】

ペット美容においては犬のみでなく猫の美容も一定の需要がある。しかし、猫は犬と同様の扱いでグルーミングを実施することはできず、猫ならではの扱いを身に付ける必要がある。この科目では猫の扱い・美容手技を習得することを目的とする。

### ※実務経験者

サンフラワーキャットクラブ理事

アビシニアン、ペルシャのブリーダーを経てペットシッターやキャットトレーナーなど猫と人の豊かな生活を支援する活動をおこなう

### 【到達目標】

猫の特性を理解し、適切に扱うことができる  
基本的な作業ができる  
個々に合わせた扱いができる

### 授業計画・内容

1回目	グルーミング実習
2回目	グルーミング実習
3回目	グルーミング実習
4回目	グルーミング実習
5回目	グルーミング実習
6回目	グルーミング実習
7回目	グルーミング実習
8回目	グルーミング実習
9回目	グルーミング実習
10回目	グルーミング実習
11回目	グルーミング実習
12回目	グルーミング実習
13回目	グルーミング実習
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	グルーミング実習

準備学習  
時間外学習

評価方法  
グルーミング実技 80%  
※指定した時間内にスムーズに作業を進め、現場での実践に近い状態で評価  
準備・後片付け 20%  
※少人数でいかにチームワークがとれるかで評価

【使用教科書・教材・参考書】 □

# 2019年度シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	アニマルトレーニング	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	間 美加
	(Animal Training)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
専攻名	キャットプロフェッショナル専攻					曜日・時限	金曜日2時限

### 【授業の学習内容】

犬の心理を理解し、犬が人間に求めているものを提供できる人材になる。  
犬に対して自分の影響力を知り、犬に適した身の振り方(接し方)を考えられるようになる。  
座学形式での講義(必要に応じて犬を使用した実技)

### ※業務経験者

犬種の特性を活かしたスポーツドッグの育成・トレーニングに長く携わり、日本フリスビードッグ協会主催の大会で数多くの入賞経験を持つ講師が、授業を担当する

### 【到達目標】

犬の行動心理や学習の原理原則を学び実生活と結びつけて考える。  
また犬にトレーニングを提供できる人間に成長することを目的とします。

### 授業計画・内容

1回目	これからの授業で意識すること。飼い主に必要とする知識とは。(予防医学)
2回目	犬社会のルールから見る犬との初対面の接し方。プロと飼い主の違いを知る。(実技)
3回目	なぜトレーニングが必要なのか?
4回目	なぜトレーニングが必要なのか?
5回目	なぜトレーニングを科学的に考えるのか?
6回目	犬を育てる為に、トレーナーが身につけること。
7回目	歩行のトレーニングを通して犬に教える人間のこと。(実技)
8回目	歩行のトレーニングを通して犬に教える人間のこと。(実技)
9回目	歩行のトレーニングを通して犬に教える人間のこと。(実技)
10回目	犬の誉め方。誉める時に必要な感情の伝え方。
11回目	歩行トレーニングの続き(実技)
12回目	歩行トレーニングの続き(実技)
13回目	犬の心を安定させる方法を知る。
14回目	歩行トレーニングの続き(実技)
15回目	前期まとめ【テスト対策】

準備学習  
時間外学  
習

評価方法

中間評価: 40点  
期末評価: 40点  
提出物: 10点  
授業態度: 10点

【使用教科書・教材・参考書】 □

プリント配布

# 2019年度シラバス

## キャットプロフェSSIONAL専攻

科目名 (英語表記)	食餌と栄養 (Dietetics for Animals)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	比嘉 恵子
専攻名	キャットプロフェSSIONAL専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日2時限
<p>【授業の学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・犬猫の日々の健康の維持管理のため、適切な食餌管理が必要。</li> <li>・人と犬と猫の食性の違いを理解する。</li> </ul> <p>※実務経験者 動物看護師として動物病院で勤務後、京都・大阪・福岡などの専門学校で非常勤講師を勤める。動物看護師統一認定機構 認定動物看護師。関西動物看護教育研究会理事。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が世話する犬猫の食餌管理ができる。</li> <li>・飼い主に食餌の指導ができる。</li> </ul>							

授業計画・内容	
1回目	犬と猫の給餌法(総論):給餌法の基礎
2回目	犬と猫の給餌法(総論):ペットフード 手作り食と市販のフード
3回目	犬と猫の給餌法(総論):成長段階別の食餌と回数
4回目	犬と猫の給餌法(各論):犬と猫の必要栄養量 必要カロリー
5回目	犬と猫の給餌法(各論):命に関わる食品
6回目	犬と猫の給餌法(各論):栄養障害を起こす食品
7回目	犬と猫の給餌法(各論):消化の悪い食品 アレルギー
8回目	中間評価及び振り返り
9回目	仔犬と仔猫の給餌法:新生仔期
10回目	仔犬と仔猫の給餌法:離乳～成長期終了まで
11回目	維持期の給餌法:成犬・成猫期の栄養管理・健康管理
12回目	繁殖期の給餌法:妊娠中～授乳中の栄養管理・健康管理
13回目	老齢動物の給餌法:老齢変化と栄養管理・健康管理
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	復習
準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬と猫の習性の違いを理解している事が必要。</li> <li>・簡単な調理ができる。</li> </ul>
評価方法	<p>※栄養学の知識の評価は筆記テストで、飼い主への指導は課題で評価。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席、平常点(15%)</li> <li>・筆記テスト:中間テスト(35%)</li> <li>・課題の提出:期末テスト(50%)</li> </ul>
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>	

# 2019年度シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	ブリーディング (Dog Breeding)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	寺田 光徳
専攻名	キャットプロフェッショナル専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日2時限

### 【授業の学習内容】

犬の専門家として、基礎的な繁殖の知識が必要とされ、また就職先である業界では、自家繁殖に取り組んでいるショップも有る事から、必要とされる知識を学びます。座学を中心に、繁殖に関するメカニズムを理解できるように進めていきます。

### ※実務経験者

JKC九州ハンドラー委員会委員長。JKC福岡県連合会幹事長を務め、ドッグショーの審査及び20年以上講師を勤める動物専門学校にて後進の指導を行い、フレンチブルドッグを専門に繁殖。ショーに参加して犬質の向上に尽力している。

### 【到達目標】

犬と猫の生殖器の仕組み、性周期、交配、出産の知識を習得します。

### 授業計画・内容

1回目	繁殖の知識が必要とされる理由
2回目	犬の飼育の現状と課題
3回目	犬等に関わる法規
4回目	適切な繁殖で有る事
5回目	経済問題と飼い主の責任
6回目	雄の生殖器
7回目	雌の生殖器
8回目	精の分化と性腺機能の調節
9回目	性周期・妊娠・分娩
10回目	繁殖の理由・交配と妊娠
11回目	出産・出産後の管理
12回目	分娩の異常
13回目	人工授精(①人工授精とは②必要性③応用④実際⑤今後)
14回目	確認テスト
15回目	振り返り

準備学習  
時間外学習

評価方法

中間評価:40点  
期末評価:60点

【使用教科書・教材・参考書】 □



# 2019年度シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅱ (Practice of Grooming Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	笹本五月
専攻名	キャットプロフェッショナル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3・4・5時限

### 【授業の学習内容】

1年次に身に付けた、犬の基本的なお手入れと犬種別のグルーミングの確認をしながら、基本的なカットやシザーワークを実際にモデル犬を使って実践する授業です。

### ※実務経験者

JKC公認トリマーライセンスA級を取得後、熊本県内にのトリミングサロンにて勤務。

### 【到達目標】

120分でラムクリップ仕上げるCOMグルーミング検定A級合格、JKCトリマーライセンスC級合格

### 授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	スタック位置・目線確認 (2人1頭)
2回目	ブローの徹底 (1人1頭)
3回目	バリカンの徹底 (1人1頭)
4回目	足回りの徹底 (1人1頭)
5回目	バリカンのきわ徹底 (1人1頭)
6回目	ウエスの徹底 (1人1頭)
7回目	アンダーラインの徹底 (1人1頭)
8回目	お尻の徹底 (1人1頭)
9回目	胸の徹底 (1人1頭)
10回目	アンギュレーションの徹底 (1人1頭)
11回目	アンギュレーションの徹底 (1人1頭)
12回目	肩の徹底 (1人1頭)
13回目	トップラインの徹底 (1人1頭)
14回目	前期評価 2時間カット仕上げ (1人1頭)
15回目	顔 頭の徹底

### 準備学習 時間外学習

### 評価方法

授業内評価  
レポート提出10点  
出席:10点  
犬の扱い方:30点  
道具の扱い方:30点  
時間管理:20点

### 【使用教科書・教材・参考書】 □

JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)

# 2019年度シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅱ (Practice of Grooming Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	笹本五月
専攻名	キャットプロフェッショナル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日3・4・5時限

### 【授業の学習内容】

1年次に身に付けた、犬の基本的なお手入れと犬種別のグルーミングの確認をしながら、基本的なカットやシザーワークを実際にモデル犬を使って実践する授業です。

### ※実務経験者

JKC公認トリマーライセンスA級を取得後、熊本県内へのトリミングサロンにて勤務。

### 【到達目標】

120分でラムクリップ仕上げるCOMグルーミング検定A級合格、JKCトリマーライセンスC級合格

### 授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
2回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
3回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
4回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
5回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
6回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
7回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
8回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
9回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
10回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
11回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
12回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
13回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
14回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
15回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業内評価 レポート提出10点 出席:10点 犬の扱い方:30点 道具の扱い方:30点 時間管理:20点
【使用教科書・教材・参考書】 □ JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)	

# 2019年度シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	トリミング演習Ⅱ (Practice of Grooming Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	2	担当教員	笹本五月
専攻名	キャットプロフェッショナル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分	後期
						曜日・時限	月・木曜日3・4・5時限

### 【授業の学習内容】

1年次に身に付けた、犬の基本的なお手入れと犬種別のグルーミングの確認をしながら、基本的なカットやシザーワークを実際にモデル犬を使って実践する授業です。

### ※実務経験者

JKC公認トリマーライセンスA級を取得後、熊本県内へのトリミングサロンにて勤務。

### 【到達目標】

120分でラムクリップ仕上げるCOMグルーミング検定A級合格、JKCトリマーライセンスC級合格

### 授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	アウトラインスタック 立ち位置 目線
2回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
3回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
4回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
5回目	トリミング犬種 仕上げ120分 バリカン25分
6回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
7回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
8回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
9回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン20分
10回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
11回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
12回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
13回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
14回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分
15回目	トリミング犬種 仕上げ100分 バリカン15分

準備学習  
時間外学習

評価方法

授業内評価  
レポート提出10点  
出席:10点  
犬の扱い方:30点  
道具の扱い方:30点  
時間管理:20点

### 【使用教科書・教材・参考書】 □

JKCグルーミングマニュアル、プリント(展開図)

# 2019年度シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	エコ教養Ⅱ (Human Study-Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	森藤史貴
専攻名	キャットプロフェッショナル専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日1時限

### 【授業の学習内容】

卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。  
社会人となる心得や一般教養を学び社会人としての常識を身につける。

※実務経験者

JKC公認ハンドラーライセンスC級取得。専門学校を卒業後、福岡市内のペットサロンに就職。

### 【到達目標】

社会人となる心得や一般教養を学び社会人としての常識を身につける。チームコミュニケーションを通して、クラスの集団行動(活動)を通して、企業(施設)におけるチームで働くことを学び、力をつける。卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。

### 授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	漢字小テスト アニマルコーディネーター試験について
2回目	漢字小テスト 進路調査アンケートについて
3回目	漢字小テスト 学園祭について
4回目	敬語小テスト 学園祭について 調べ学習
5回目	敬語小テスト 学園祭の準備
6回目	敬語小テスト 合同企業説明会について
7回目	漢字小テスト 学園祭の準備
8回目	漢字小テスト 学園祭、合同企業説明会の振り返り
9回目	一般教養小テスト スポーツフェスタのについて 卒業アルバムについて①
10回目	一般教養小テスト スポーツフェスタの準備 卒業アルバムについて②
11回目	一般教養小テスト 夏休みまで振り返り 夏休みの計画について 業界研修の注意事項
12回目	夏休みの振り返り 進路調査
13回目	期末試験について 追再試について
14回目	トリミング実習について振り返り
15回目	スポーツフェスタの振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末評価:70点 出席点:10点 提出物:20点

【使用教科書・教材・参考書】 □

# 2019年度シラバス

## キャットプロフェSSIONAL専攻

科目名 (英語表記)	エコ教養Ⅱ (Human Study-Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	森藤史貴
専攻名	キャットプロフェSSIONAL専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜日1時限

### 【授業の学習内容】

卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。  
社会人となる心得や一般教養を学び社会人としての常識を身につける。

※実務経験者

JKC公認ハンドラーライセンスC級取得。専門学校を卒業後、福岡市内のペットサロンに就職。

### 【到達目標】

社会人となる心得や一般教養を学び社会人としての常識を身につける。チームコミュニケーションを通して、クラスの集団行動(活動)を通して、企業(施設)におけるチームで働くことを学び、力をつける。卒業時を目標に時期・時間ごとの計画をたて、実行し、達成する力をつけ、社会人として生きる力を育む。

### 授業計画・内容

1回目	後期に向けて 就職希望アンケート
2回目	職場の人間関係/社会人になるという事
3回目	働くという事/社会人になるという事
4回目	We are ECO 研究発表 準備開始
5回目	We are ECO / 研修を成功させるために
6回目	We are ECO / 社会人基礎力
7回目	We are ECO / 社会人基礎力
8回目	We are ECO / 社会人基礎力
9回目	社会人基礎力
10回目	社会人になる前に 社会人基礎力
11回目	JKCライセンス試験について傾向と対策
12回目	We are ECO 1年間の振り返り
13回目	We are ECO 研究発表 仕上げ
14回目	We are ECO 研究発表 仕上げ
15回目	2年間を振り返って
準備学習 時間外学習	
評価方法	期末評価:70点 出席点:10点 提出物:20点

【使用教科書・教材・参考書】 □

# 2019年度 シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	内定者研修 (Practical Training)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
	専攻名	キャットプロフェッショナル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時限

**【授業の学習内容】**

就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。

**【到達目標】**

1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。
2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。
3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。

### 授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先において業務経験を積む (1)
2回目	就職内定先において業務経験を積む (2)
3回目	就職内定先において業務経験を積む (3)
4回目	就職内定先において業務経験を積む (4)
5回目	就職内定先において業務経験を積む (5)
6回目	就職内定先において業務経験を積む (6)
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む (7)
9回目	就職内定先において業務経験を積む (8)
10回目	就職内定先において業務経験を積む (9)
11回目	就職内定先において業務経験を積む (10)
12回目	就職内定先において業務経験を積む (11)
13回目	就職内定先において業務経験を積む (12)
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる

準備学習 時間外学習	業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめる。
---------------	--

評価方法	日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う(100%)。
------	---

【使用教科書・教材・参考書】

# 2019年度 シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	内定者研修 (Practical Training)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
	専攻名	キャットプロフェッショナル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時限

**【授業の学習内容】**

就職内定者を対象に、就職内定先で実践的な研修など現場経験を積むことで、卒業時に即戦力として活躍できるようになる。

**【到達目標】**

1. 就職内定先で業務を行う上で必要な経験を積み、卒業時には即戦力として活躍できる人材になる。
2. 就職内定先で業務を行う上で必要な専門知識・技術を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。
3. 就職内定先で業務を行う上で必要なコミュニケーション力を身につけ、就職内定先に貢献できる人材になる。

### 授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先において業務経験を積む (1)
2回目	就職内定先において業務経験を積む (2)
3回目	就職内定先において業務経験を積む (3)
4回目	就職内定先において業務経験を積む (4)
5回目	就職内定先において業務経験を積む (5)
6回目	就職内定先において業務経験を積む (6)
7回目	これまでの業務のまとめと振り返り
8回目	就職内定先において業務経験を積む (7)
9回目	就職内定先において業務経験を積む (8)
10回目	就職内定先において業務経験を積む (9)
11回目	就職内定先において業務経験を積む (10)
12回目	就職内定先において業務経験を積む (11)
13回目	就職内定先において業務経験を積む (12)
14回目	これまでの業務のまとめと振り返り
15回目	今後の課題とその対策をまとめる

準備学習 時間外学習	業務中に学んだこと、気づいたことなど、メモした内容を、ノート、word、excel、にまとめる。
---------------	--

評価方法	日々の業務における日報を就職内定先に提出し、就職内定先の方との面談による振り返りを行い、業務の習得度合いで評価を行う(100%)。
------	---

【使用教科書・教材・参考書】

# 2019年度 シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	特別研究課題 (Advanced Research Project from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	キャットプロフェッショナル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 随時

**【授業の学習内容】**

就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようになる。

**【到達目標】**

1. 就職内定先の業務を把握することができる。
2. 業務の改善を必要とする課題を見つけ報告ができる。

### 授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (1)
2回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (2)
3回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (3)
4回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (4)
5回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (5)
6回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (6)
7回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (7)
8回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (8)
9回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (9)
10回目	就職内定先の業務を把握するために現場での経験を積む (10)
11回目	現場経験から業務の改善を必要とすることを見つける (1)
12回目	現場経験から業務の改善を必要とすることを見つける (2)
13回目	業務の改善を必要とすることを課題としてまとめる (1)
14回目	業務の改善を必要とすることを課題としてまとめる (2)
15回目	業務の改善を必要とすることを課題を報告する
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。
評価方法	現場経験を積み途中で、業務日報を毎日記入して提出し現場担当者に見てもらいながらディスカッションを重ねる。また、それらから業務改善の課題を絞り報告内容によって評価する(100%)。

【使用教科書・教材・参考書】 □



# 2019年度 シラバス

## キャットプロフェSSIONAL専攻

科目名 (英語表記)	特別研究課題 (Advanced Research Project from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	キャットプロフェSSIONAL専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 随時

**【授業の学習内容】**

就職内定者を対象に、就職内定先から従来の業務を改善する課題をいただき、どのような改善を行うことが作業の効率化が図れるか、これまで身につけた専門知識技術を総合的に発揮できるようになる。

**【到達目標】**

1. 業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアをまとめることができる。
2. 課題を解決するアイデアを実践することができる。

### 授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (1)
2回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (2)
3回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (3)
4回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (4)
5回目	業務の改善を必要とする課題を解決するアイデアを考える (5)
6回目	課題を解決するアイデアを報告し、質疑応答を行う
7回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (1)
8回目	課題を解決するアイデアのブラッシュアップを行う (2)
9回目	ブラッシュアップしたアイデアを報告し、質疑応答を行う
10回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (1)
11回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (2)
12回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (3)
13回目	課題を解決するアイデアを実践して効果を検証する (4)
14回目	検証結果をまとめる
15回目	検証結果の報告を行い、今回の課題改善の振り返りを行う
準備学習 時間外学習	現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。
評価方法	課題を解決するアイデアを実践することで得られた結果を検証し、その報告内容によって評価する(100%)。

# 2019年度 シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	卒業企業課題 (Practical Assignment from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	キャットプロフェッショナル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 随時

**【授業の学習内容】**

就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。

**【到達目標】**

1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。
2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。
3. 採用されたイベント企画を実践することができる。

### 授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (1)
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (2)
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (3)
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (1)
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (2)
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (3)
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (1)
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (2)
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (3)
12回目	企画したイベントの実践 (1)
13回目	企画したイベントの実践 (2)
14回目	企画したイベントの実践 (3)
15回目	イベントの振り返りとまとめ

準備学習  
時間外学習

現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。

評価方法

イベントの企画・立案力:30%  
プレゼンテーション力:30%  
実践力:40%  
上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。

【使用教科書・教材・参考書】 □

# 2019年度 シラバス

## キャットプロフェッショナル専攻

科目名 (英語表記)	卒業企業課題 (Practical Assignment from a Workplace)	必修 選択	必修 選択	年次	卒業年次	担当教員	就職内定先企業
専攻名	キャットプロフェッショナル専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 随時

**【授業の学習内容】**

就職内定者を対象に、就職内定先よりお客様が喜ぶようなイベントを考える課題をいただき、イベントの企画・立案を行う。プレゼンテーション後に企画が採用されたら、その企画を実践する。実施後には、振り返りを行い就職後の業務に活かす。

**【到達目標】**

1. お客様が喜ぶイベントの企画を立案することができる。
2. 企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションすることができる。
3. 採用されたイベント企画を実践することができる。

### 授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (1)
2回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (2)
3回目	イベントの対象となるお客様を絞り、そのお客様のことを調べる (3)
4回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (1)
5回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (2)
6回目	お客様に合うイベントを企画・立案する (3)
7回目	企画したイベントについて、現場の担当者にプレゼンテーションする
8回目	プレゼンテーションでいただいた意見を参考に企画をブラッシュアップし、再度プレゼンテーションする
9回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (1)
10回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (2)
11回目	採用されたイベント企画を実践する準備をする (3)
12回目	企画したイベントの実践 (1)
13回目	企画したイベントの実践 (2)
14回目	企画したイベントの実践 (3)
15回目	イベントの振り返りとまとめ

準備学習  
時間外学習

現場経験を積みながら、業務内容をメモしたものを、ノート、word、excelにまとめる。

評価方法

イベントの企画・立案力:30%  
 プレゼンテーション力:30%  
 実践力:40%  
 上記の3段階に分けて、それぞれの評価を行う。

【使用教科書・教材・参考書】 □